

# 2018年3月期 決算説明会

2018年5月11日

フィールズ株式会社

## 連結P/L（要約）

（単位：億円）

	2017年3月期		2018年3月期			
	実績	期初計画	修正計画	実績	前期増減額	修正計画増減
<b>売上高</b>	<b>766.6</b>	<b>820.0 ~850.0</b>	<b>625.0</b>	<b>610.5</b>	<b>△156.1</b>	<b>△14.4</b>
売上総利益	176.4	—	—	134.0	△42.4	
販管費	230.1	—	—	191.3	△38.7	
<b>営業損益</b>	<b>△53.7</b>	<b>10.0 ~20.0</b>	<b>△60.0</b>	<b>△57.3</b>	<b>△3.6</b>	<b>+2.6</b>
<b>経常損益</b>	<b>△90.6</b>	<b>0 ~20.0</b>	<b>△60.0</b>	<b>△52.0</b>	<b>+38.6</b>	<b>+7.9</b>
親会社株主に帰属する <b>当期純損益</b>	<b>△124.8</b>	<b>0 ~10.0</b>	<b>△66.0</b>	<b>△76.9</b>	<b>+47.9</b>	<b>△10.9</b>

※ 百万円以下は切り捨てて表示しています。

## 連結B/S（要約）

（単位：億円）

	2017年3月末	2018年3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	<b>458.5</b>	<b>426.5</b>	<b>△32.0</b>	売上債権の減少／たな卸資産の増加
（現金及び預金）	231.9	244.7	+12.8	
有形固定資産	<b>103.6</b>	<b>52.7</b>	<b>△50.8</b>	遊休資産（土地）の売却による減少
無形固定資産	<b>24.6</b>	<b>13.8</b>	<b>△10.8</b>	
投資その他の資産	<b>217.0</b>	<b>230.4</b>	<b>+13.3</b>	投資有価証券の評価による減少／ 長期貸付金の増加
資産合計	<b>803.9</b>	<b>723.5</b>	<b>△80.4</b>	
流動負債	<b>204.7</b>	<b>224.8</b>	<b>+20.0</b>	仕入債務の減少／短期借入金の増加
固定負債	<b>166.9</b>	<b>143.6</b>	<b>△23.2</b>	長期借入金の減少
純資産	<b>432.2</b>	<b>355.0</b>	<b>△77.1</b>	利益剰余金の減少
負債純資産合計	<b>803.9</b>	<b>723.5</b>	<b>△80.4</b>	

※ 百万円以下は切り捨てて表示しています。

## 連結C/F（要約）

（単位：億円）

	2017年3月期	2018年3月期	当期の主な内訳
営業 キャッシュ・フロー	△73.1	△10.9	税金等調整前当期純損失 △73.8 仕入債務の減少 △16.4 たな卸資産の増加 △33.9 売上債権の減少 +67.1／投資有価証券評価損 +21.8
投資 キャッシュ・フロー	△39.2	43.9	有形固定資産の売却による収入 +62.5 関係会社株式の売却による収入 +22.0 貸付金の回収による収入 +25.7 貸付けによる支出 △45.2
財務 キャッシュ・フロー	21.3	△20.2	短期借入金の増加 +38.6／配当金の支払 △16.5 長期借入金の返済による支出 △32.0／連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 △9.5
現金及び現金同等物の 増減額	△91.0	12.8	
現金及び現金同等物の 期首残高	322.0	230.9	
現金及び現金同等物の 期末残高	230.9	243.7	

※ 百万円以下は切り捨てて表示しています。

## 2019年3月期 連結業績計画

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期 計画	
	通期	通期	前期増減額
<b>売上高</b>	610.5	<b>950.0</b>	339.5
売上総利益	134.0	<b>170.0</b>	36.0
販管費	191.3	<b>150.0</b>	△ 41.3
<b>営業利益</b>	△ 57.3	<b>20.0</b>	77.3
<b>経常利益</b>	△ 52.0	<b>25.0</b>	77.0
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	△ 76.9	<b>15.0</b>	91.9

※ 百万円以下は切り捨てて表示しています。

## 配当について

### 2018年3月期 配当実績（第2四半期末）及び配当予想（期末）の修正

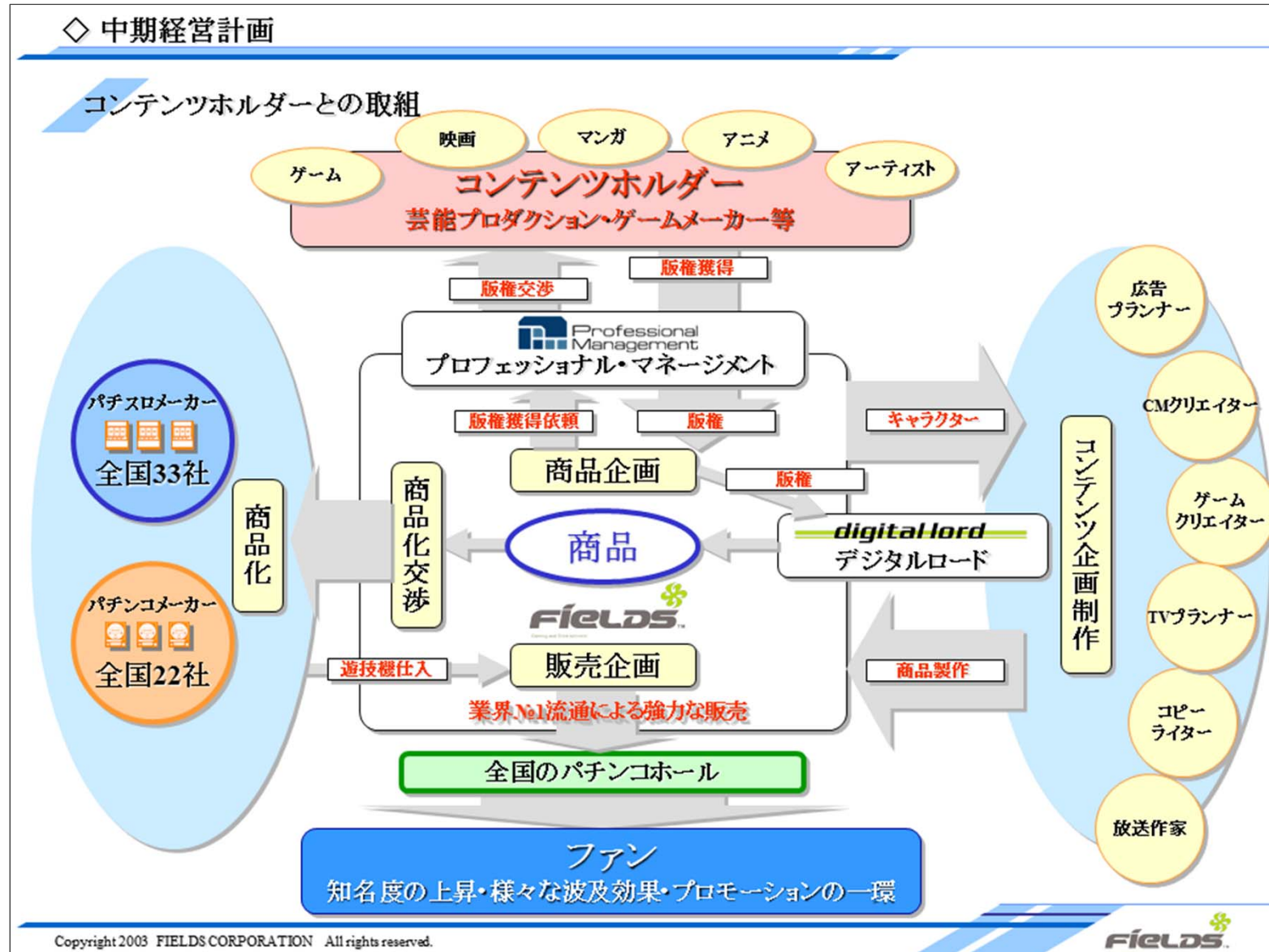
	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2017年5月9日)	25円00銭	25円00銭	50円00銭
今回修正予想		5円00銭	30円00銭
当期実績	25円00銭		
前期実績 (2017年3月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭

### 2019年3月期 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2019年3月期	—	10円00銭	10円00銭

# 上場時のビジネスモデル

(2003年3月期 決算説明会資料)



# 上場時のメーカー戦略

(2003年3月期 決算説明会資料)

◇ 今後のメーカー動向への対応

メーカーの動向とコンテンツ提供先

パチンコメーカー

現在23社



有力5社程度

パチスロメーカー

現在33社



有力5社程度



コンテンツ提供

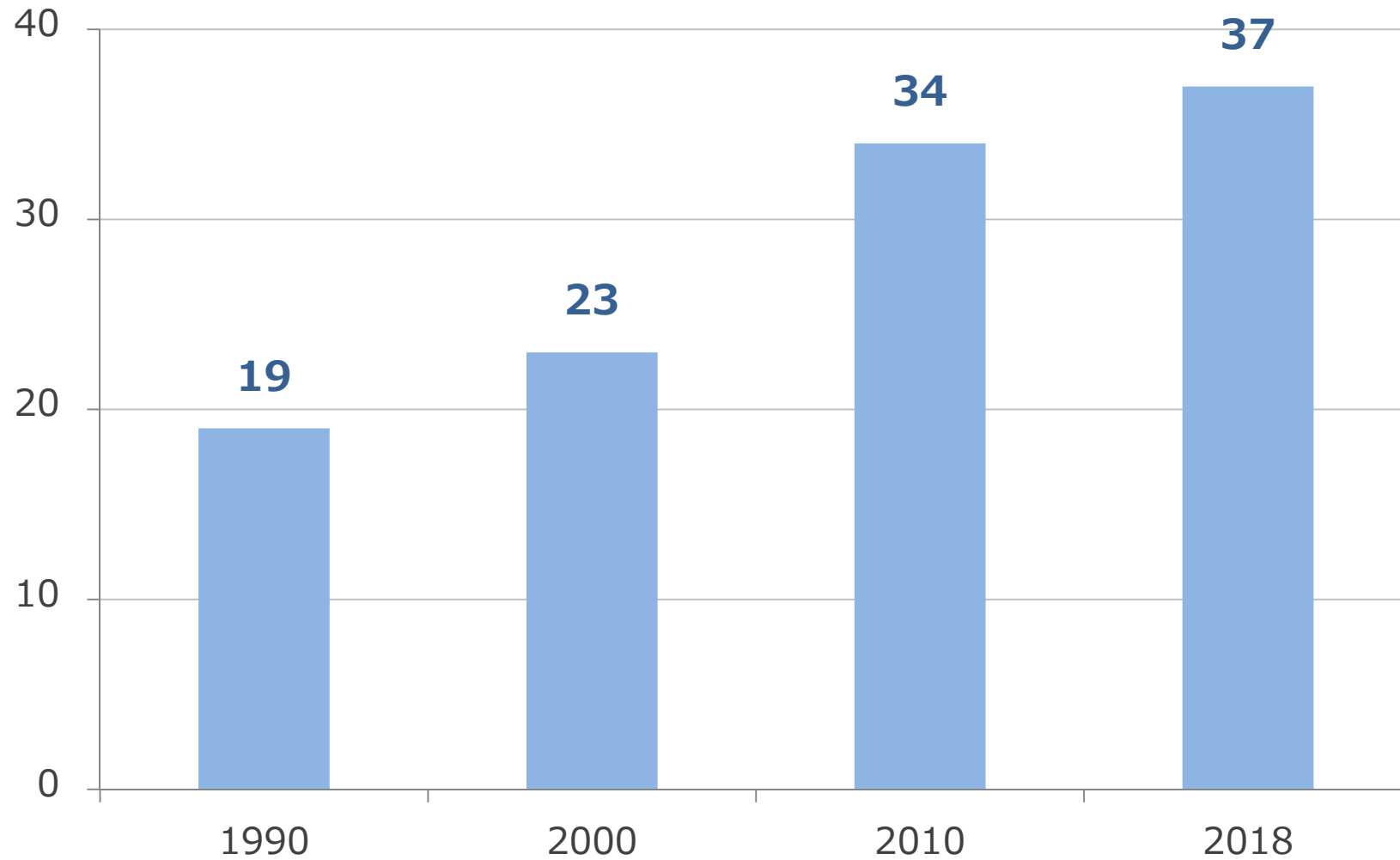
シェア拡大への足がかり



## パチンコメーカー数 推移

---

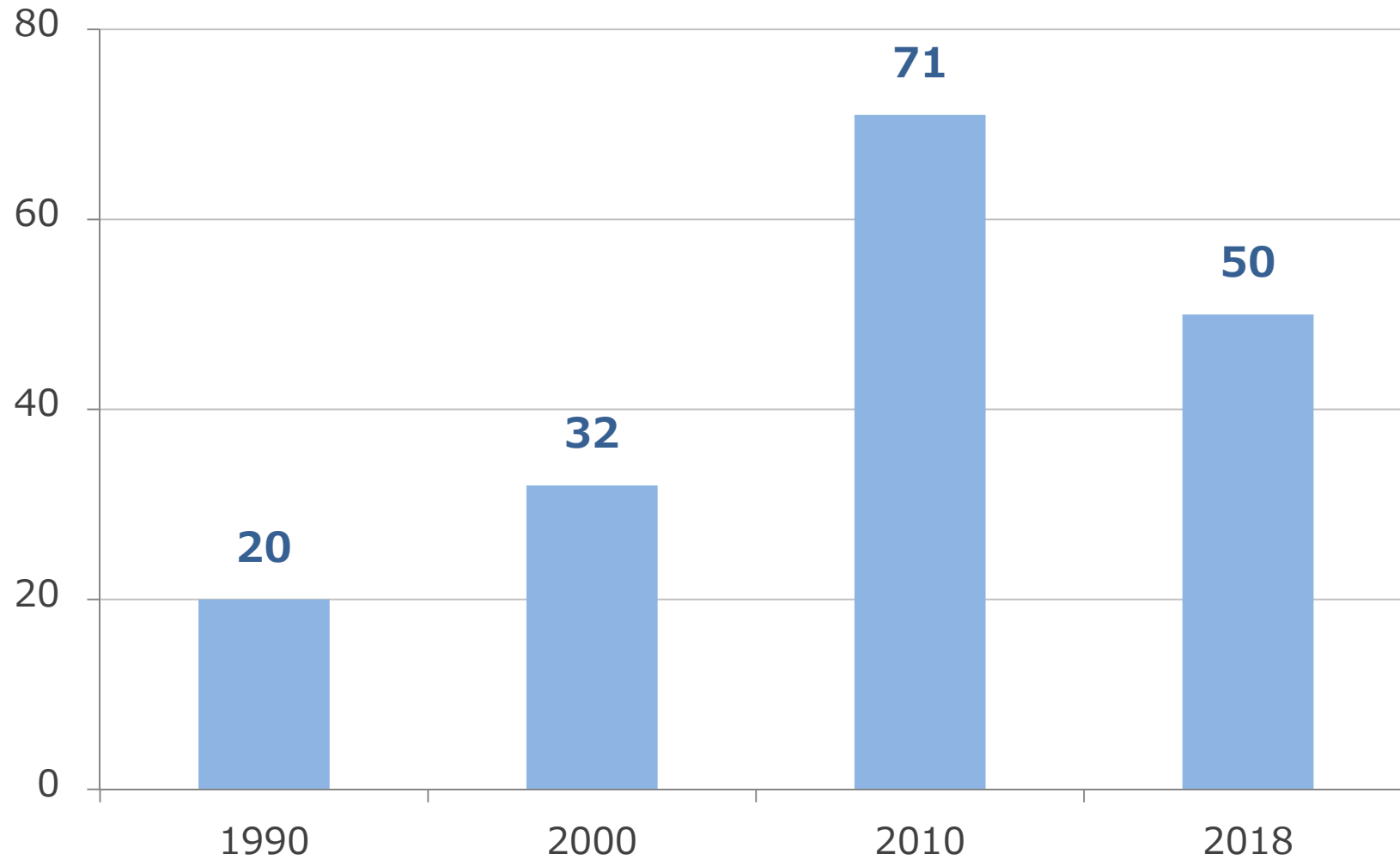
(単位：社)



(出所) 当社調べ

## パチスロメーカー数 推移

(単位：社)

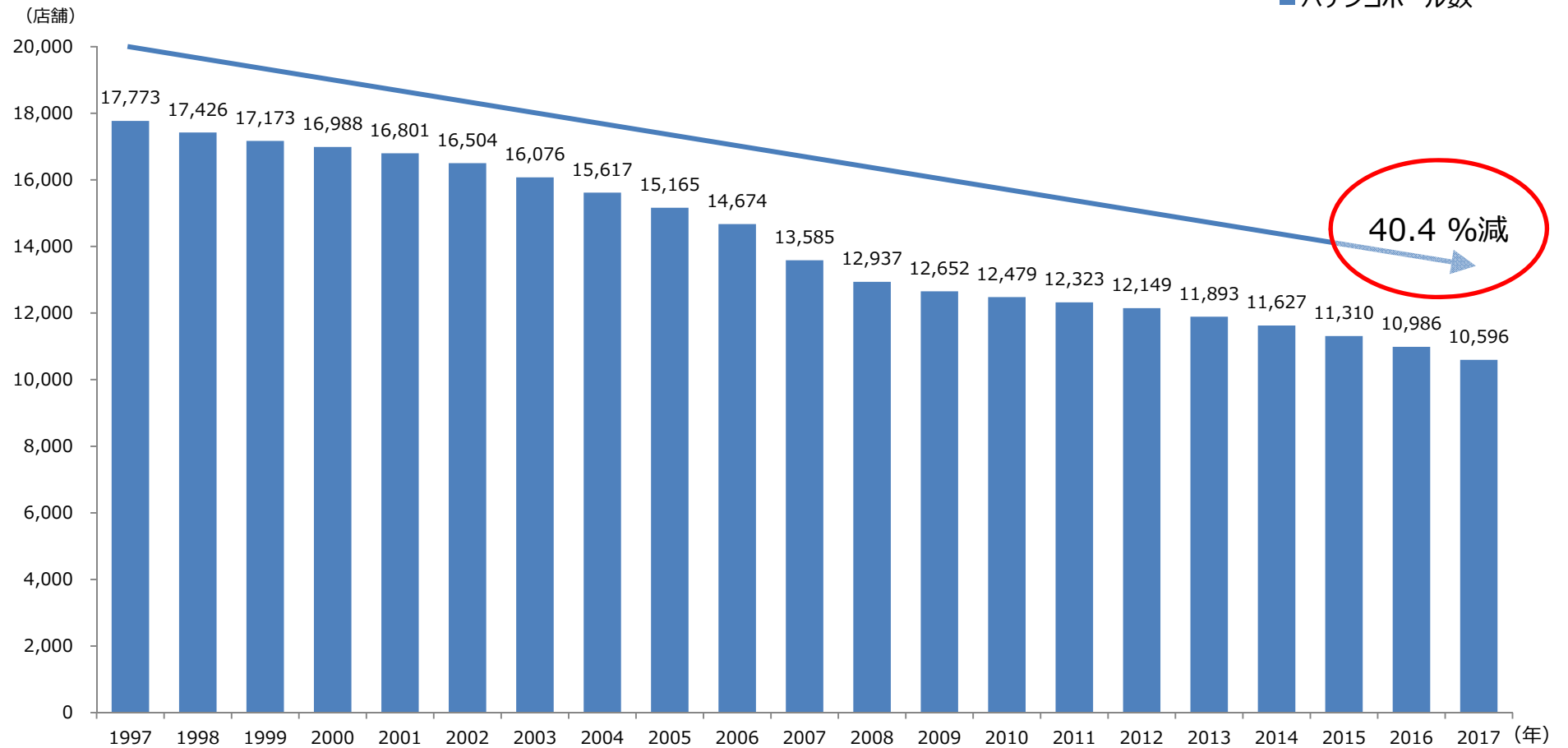


(出所) 当社調べ

# パチンコホール数 推移

## 小規模ホールの淘汰、優良法人によるM&Aの加速

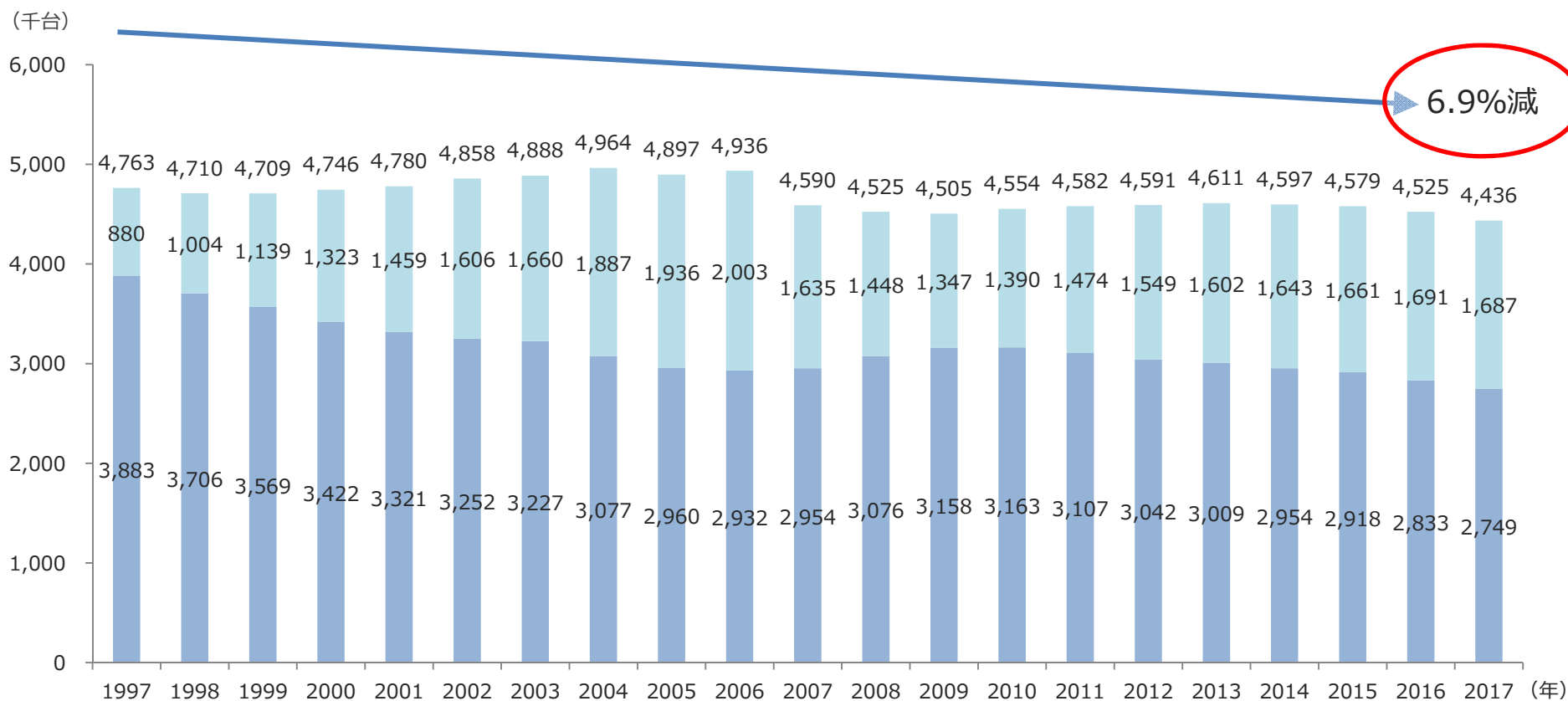
■ パチンコホール数



(出所) 警察庁統計

# 遊技機設置台数 推移

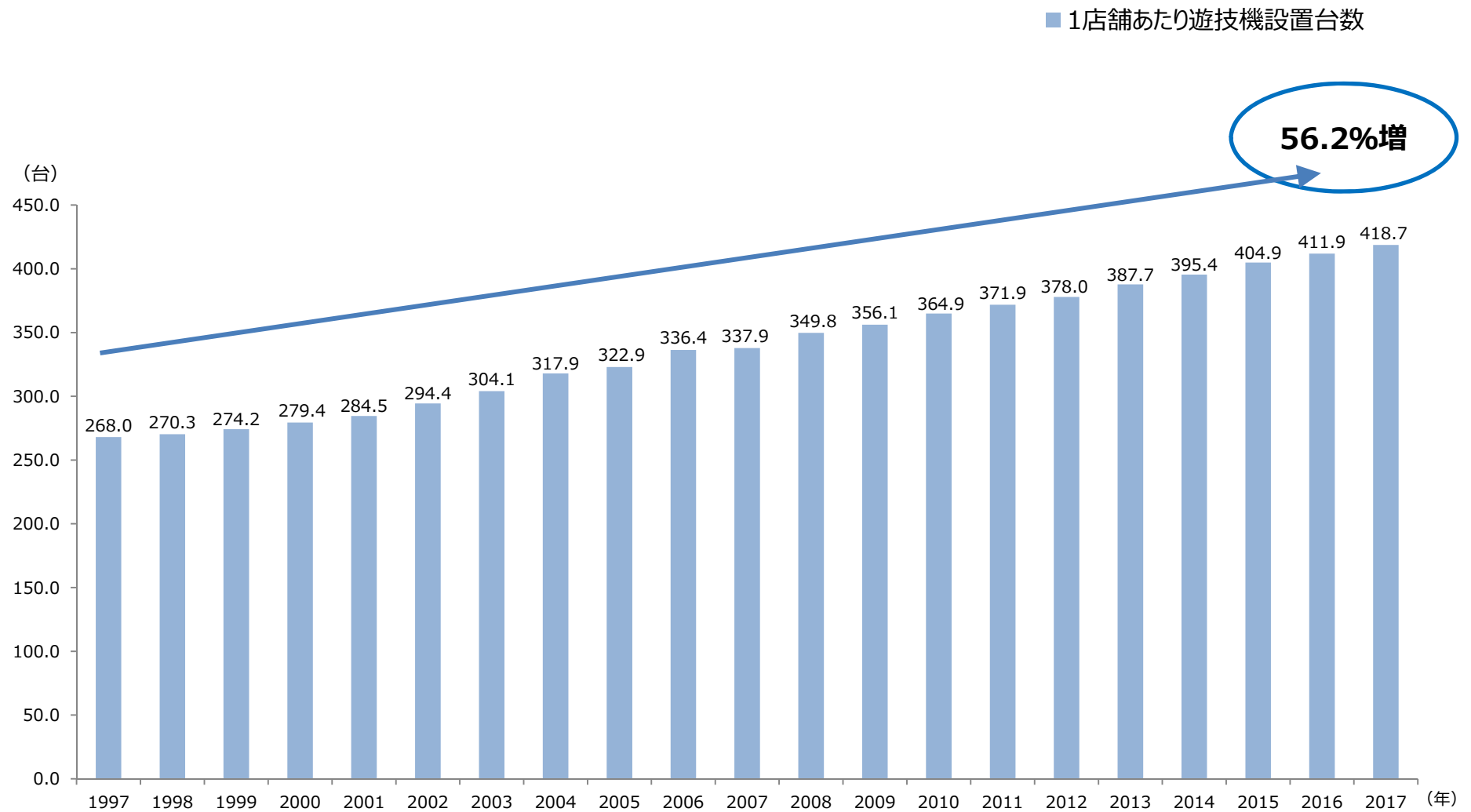
■ パチスロ設置台数  
■ パチンコ設置台数



6.9%減

(出所) 警察庁統計

# 1店舗当たりの設置台数 推移



(出所) 警察庁統計

## パチンコ販売台数シェア ※台数シェアは2013～2017年度の5年間平均

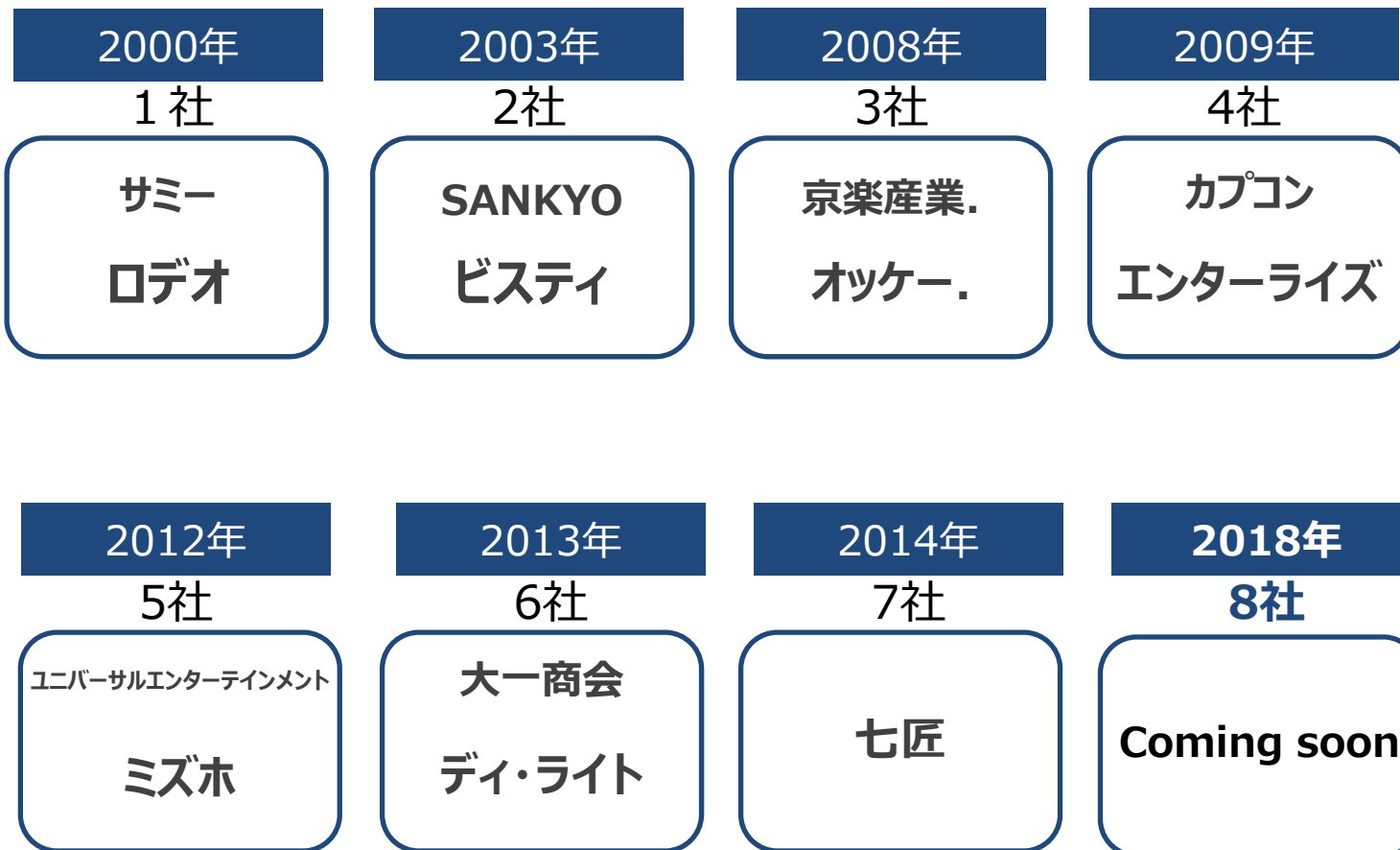
	メーカーグループ	台数シェア
1	三洋物産グループ	20.7%
2	三共グループ	15.0%
3	サンセイアールアンドディ	12.9%
4	平和・オリンピックグループ	12.6%
5	京楽産業.グループ	12.5%
6	サミーグループ	11.9%
7	ニューギングループ	8.8%
8	藤商事グループ	6.9%
9	大一商会グループ	3.5%
10	高尾	3.3%
11	ソフィア	1.9%
12	豊丸産業	1.3%
13	ユニバーサルEグループ	1.1%
14	マルホン工業	0.5%

## パチスロ販売台数シェア ※台数シェアは2013～2017年度の5年間平均

	メーカーグループ	台数シェア
1	サミーグループ	24.4%
2	ユニバーサルEグループ	22.9%
3	北電子	12.9%
4	平和・オリンピアグループ	10.9%
5	大都技研グループ	10.6%
6	山佐	8.4%
7	三共グループ	7.7%
8	エンターライズ	5.5%
9	ニューギングループ	4.2%
10	京楽産業.グループ	3.9%
11	三洋物産	3.6%
12	KPE	2.8%
13	ネット	2.5%
14	パイオニア	2.2%
15	ベルコ	2.1%

## 当社のアライアンス戦略

---





## 年間のアライアンス商品数

### アライアンス ブランド

サミー  
ロデオ

SANKYO  
ビスティ

京楽産業.  
オツケー.

カプコン  
エンターライズ

ユニバーサルエンターテインメント

ミスホ

大一商会  
ディ・ライト

七匠

Coming soon



パチンコ 年間商品数

各ブランド 2~3 機種/年

5社 計 10~15 機種/年



パチスロ 年間商品数

各ブランド 2~3 機種/年

7社 計 15~20 機種/年

現在26拠点 + 新たに8拠点 = 34拠点

(2017年12月~2018年4月完了)



## 新たな動画情報配信

---

2018年2月 業界大手2メディアと動画配信会社設立  
第3四半期から本格始動



**Jpb**<sup>TM</sup> Japan premium  
broadcast Inc.



**Amusement Japan**

- 1998年設立、エンタテインメント全般を対象とした紙誌を発行。



**GreenBelt**

- 1963年設立、同年よりパチンコ業界誌「グリーンベルト」を発刊。



**FIELDS**<sup>TM</sup>  
Gaming and Entertainment

ホール経営に  
資する情報

**WE**<sup>TM</sup>  
**PACHINKO**  
premium information

集客に  
関わる情報

PS新機種  
情報

## フィールズの強み

---

フィールズは ホール様とメーカー様を繋ぐ  
業界随一の全国流通商社

---

ホールニーズ・消費者動向など  
'現場の声'を届ける



機械情報・市場分析など  
'最新情報'を届ける

**‘流通’のフィールドズだから創出できる**

**新しい価値・サービスを提供**

## 業界の無駄を失くす作業効率システム

新台設置・部品点検業務の一括受注/一元化



## WEBターゲットティング広告

時代の変化に対応した広告配信

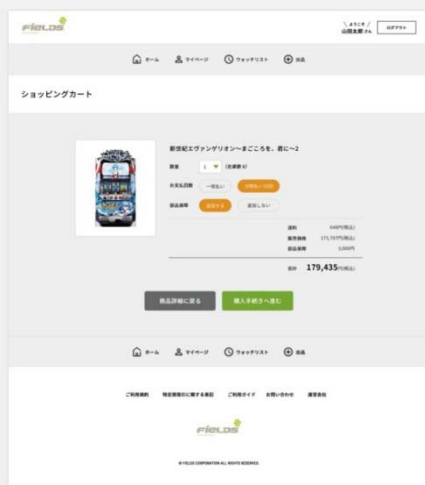




# 新規ソリューション施策（遊技機二次流通、他）

## 遊技機二次流通への参入、パチンコホール土地有効活用提案など 業界活性化につながる諸施策を推進

### 遊技機の二次流通



### その他ソリューション (デジタルサイネージ、ホールの土地活用など)



**BOOOM!**

**マイクロキャビン®**

- 1982年設立  
遊技機用ソフトウェアの企画開発

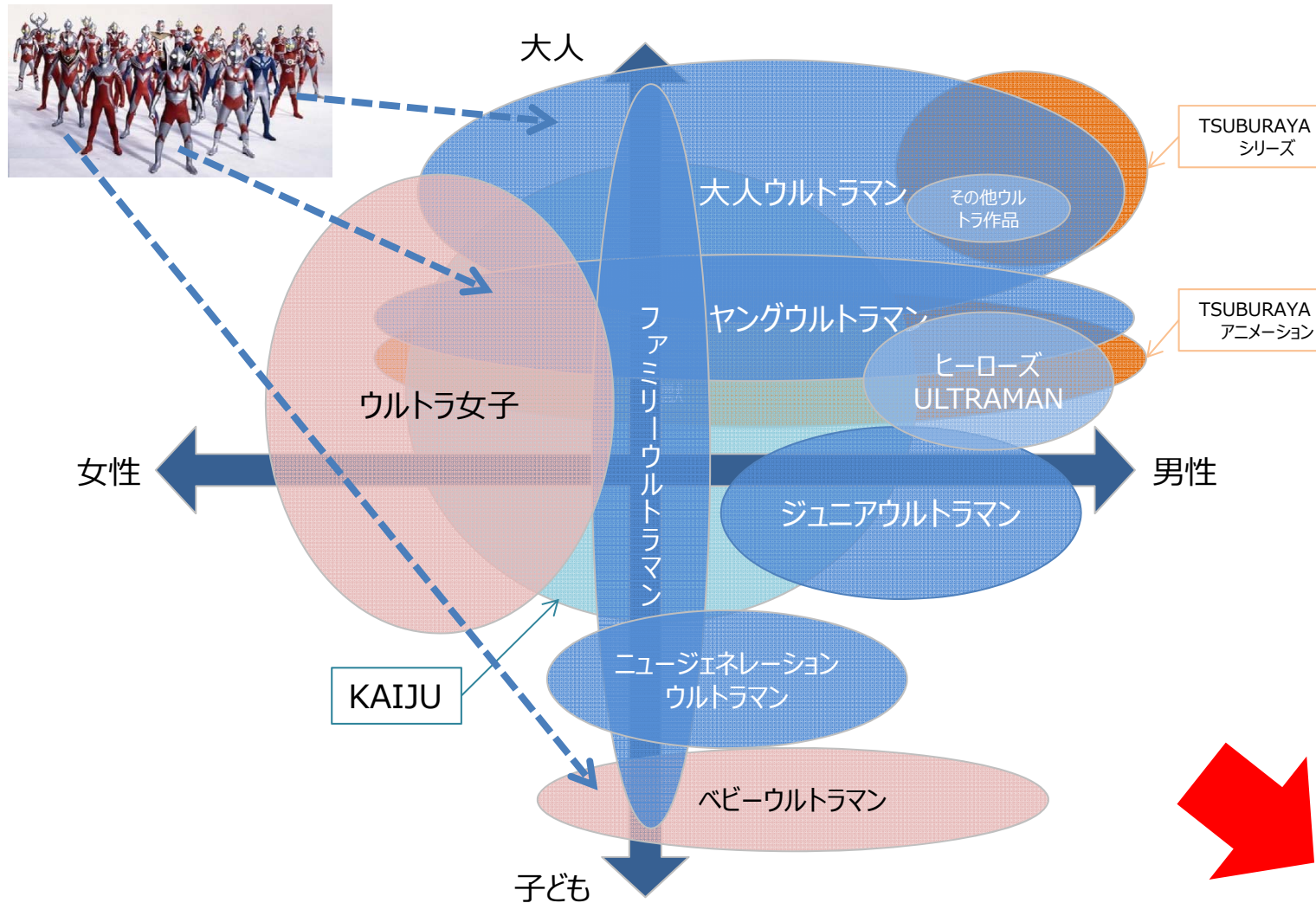
**SNT**

- 2008年設立（1993年事業開始）  
遊技機の研究開発、商品企画



**ブランド強化**  
**ビジネスチャンス創出**

ウルトラマン～NewIPをターゲットごとにプロジェクト化。そして世界へ。





プロダクション → スタジオ



GANTZ



©奥浩哉/集英社・「GANTZ:O」製作委員会

Infini-T Force



©タツノコプロ/Infini-T Force製作委員会

## 連結グループ内を、4つのカンパニーに再編

グループ全機能の最適配置、コスト削減、意思決定スピードの向上



## 免責事項/お問い合わせ先

本資料に掲載されている弊社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、弊社の主たる事業領域でありますパチンコ・パチスロ市場を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社の取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。